

授業科目名	急性期成人看護援助論		担当教員	◎松本幸枝、岡本明美、千葉恵子、 路 璐、鈴木玲子	科目ナンバリング NS360
必修	開講年次：3年前期	単位：2単位	授業形態：演習60時間		

【授業概要】

慢性期成人看護学に続いて、成人看護学各論を学ぶ。急性期にある人々への看護援助、外科的治療を受ける人の援助、そして健康の危機的状況にある人の状態の判断と支援するに関する看護の役割について学ぶ。

【達成目標】

1. 急性期にある人々の看護援助に関する基礎知識を理解する。
2. 外科的治療を受ける患者を周術期を通して継続的な観点から援助する能力を培うとともに周術期の患者のリスク予測に基づいた予防的な看護能力を取得する。
3. 健康の危機状態に面している患者の援助に関する基礎的知識を獲得する。

【履修条件】

「成人看護学概論」を修得していること。

【授業計画】

[01]	ガイダンス / 急性期の概念と対象の理解	(松本)
[02]	周手術期看護の特徴：術前看護	(松本)
[03]	周手術期看護の特徴：術中看護	(松本)
[04]	周手術期看護の特徴：術直後の看護(ICU・HCU)	(松本)
[05]	周手術期看護の特徴：術後回復期の看護と生活支援	(松本)
[06]	周手術期看護：脳神経	(岡本)
[07]	周手術期看護：運動器	(岡本)
[08]	周手術期看護：消化器①	(路)
[09]	周手術期看護：消化器②	(路)
[10]	周手術期看護：消化器③	(路)
[11]	周手術期看護：乳腺	(路)
[12]	周手術期看護：生殖器	(路)
[13]	周手術期看護：泌尿器	(路)
[14]	周手術期看護：呼吸器	(岡本)
[15]	周手術期看護：循環器①	(松本)
[16]	周手術期看護：循環器②	(松本)
[17]	救急看護①	(松本)
[18]	救急看護②	(松本)
[19]	事例で考える周手術期看護：関連図①	(路・松本・千葉・鈴木)
[20]	事例で考える周手術期看護：関連図②	(路・松本・岡本・鈴木)
[21]	事例で考える周手術期看護：看護過程の展開①	(路・松本・岡本・千葉)
[22]	事例で考える周手術期看護：看護過程の展開②	(路・松本・岡本・千葉・鈴木)
[23]	事例で考える周手術期看護：看護過程の展開③	(路・岡本)
[24]	事例で考える周手術期看護：看護過程の展開④	(路・岡本)
[25]	事例で考える周手術期看護：看護過程の展開⑤	(松本・岡本)
[26]	事例で考える周手術期看護：看護過程の展開⑥	(松本・岡本)
[27]	周手術期の看護技術①	(路・松本・千葉・鈴木)
[28]	周手術期の看護技術②	(路・松本・千葉・鈴木)
[29]	周手術期の看護技術③	(路・松本・千葉・鈴木)
[30]	周手術期の看護技術④	(路・松本・千葉・鈴木)

【教科書】

野崎真奈美他編集(2022)、看護学テキスト NiCE、成人看護学 成人看護技術(改訂3版)、南江堂

【参考書】

- ・人間機能学、人間病態学Ⅰ・Ⅱ
- ・病気が見えるシリーズ

【評価方法・評価基準】

定期試験・小テスト60% 授業内課題提出物40%

【講義のために必要な事前・事後学習】

- ・事前学習：人間機能学、人間病態学Ⅰ・Ⅱ、成人看護学概論、慢性期成人看護援助論を復習しておくこと。
- ・演習で実施する事例内容について、「成人看護技術」を活用し学習してくること。
- ・看護展開論Ⅰ、Ⅱを復習して、事例展開及び関連図の整理ができるように準備しておくこと。
- ・事後学習：演習で実施した内容を復習し、実践(臨地実習)に必要な看護技術を修得しておくこと。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ、根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ、多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ、生涯に渡り継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

定期試験・小テスト：試験終了後解答を開示する。実技評価及び事例展開については、授業の中で解説をする。

【備考】

特になし